

議案第72号 布袋駅東複合公共施設等整備事業 設計施工一括契約の締結について。議案第73号 財産の無償貸し付けについて、日本共産党議員団を代表し反対の対場で討論します。

●幾度もの挫折を経て新図書館がようやくできることは、待ち望んできた市民にとって嬉しい反面、市民の意見をしっかりと施設計画に反映させながら作るべきだった新図書館が、PPP・PFI的手法をとったために、情報公開と市民参加の手続きが欠落したままとなり、市民の関心を高め、市民参加のまちづくりを進めるせっかくの機会を生かせずに終わった。

●PPP手法は、あまりにも市民への情報公開が欠落、市民の税金で市民の施設をつくるのに、なぜここまで情報公開から遠ざかった手法なのか。

●契約金額が、高額すぎる。中味も、本当に必要な設備に絞った、維持管理経費が少なくて済む仕様になっていない。年間8億円もの事業スクラップを行わなければならないほど財政がひっ迫してきた今の江南市にとって、はたして、ふさわしい施設と胸を張れるのか疑問。税金の無駄遣いのそしりを受けかねない。

●駐車場が最初から最後まで不足すると指摘してきたが、不安が解消していない。車に乗れない、行く手段がないと、いう市民の声に全く応えていない。

●契約額の維持管理業務経費が倍額ほども高い。他施設との比較で容易にわかる。人件費、運営費も光熱水費も含まれないのに、年間7千万円も。

どこまでも公共施設である、複合公共施設を建設して、30年契約で事業者との維持管理契約を同時に結ぶ必要性があったのか、多いに疑問。維持管理契約を結ばず、運営がそうであるように、維持管理も、市が直接、市内業者と毎年のそれぞれの維持管理分野ごとの管理委託契約を結べば、事足りたし、ずっと安く挙がったはず。市内業者の仕事にもつながったはず。事業者に大判振る舞いにおわった。

●時期の問題は大きい。消費税増税とコロナ禍で、市民生活がキュウキュウとしている時期に、市民生活支援を優先させるべきではないか。

●市の財政との関連で。大型事業つづきの中、学校給食センターや老人福祉センター・中央コミュニティセンターの更新を優先するべきではないのか。しかも、コロナ禍の影響で、市税収入はリーマンショック時並みに大きく落ち込むことは必至。地方交付税で補填されると言っても、交付税の元手も減り、交付税総額も減る見通し。市税減少分の4分の1は、交付税補填されない。臨時財政対策債で、どこまで補填されるのか不透明である。

多くの自治体が、財政悪化と先行き不透明な時期に、コロナ対策を優先しなければならないと、大型事業を進めるのを延期、発注の延期等行っていると報道された。

コロナ禍が落ちつき、地域経済と市民生活が通常の状態に、復活するまで、事業を延期するべきではないか。あらためて、江南市の身の丈にあった維持管理経費が少なくて済む施設、人口減少社会を見越した図書館等の複合施設計画に、今度こそ市民参加で事業を練り直して、直営で建設すべきだ。以上、反対討論とする。